

### 第3回県社協理事会を開催

11月16日(木)、KKRホテル熊本で第3回理事会を開催し、「第2回評議員会の開催日時・場所及び議案について」の審議を行い、原案のとおり承認されました。また、「会長及び常務理事の職務執行状況の報告」として会長及び常務理事の会議等への出席状況や上半期の事業報告等を行いました。さらに、昨年4月に発生した平成28年熊本地震における本会の支援活動について振り返りを行い、その成果や課題、今後の取組みをまとめた『平成28年熊本地震』における支援活動報告書～熊本県社会福祉協議会の取組みを検証～について報告を行いました。



【第3回理事会の様子】

### 熊本地震復興応援「第10回火の国ボランティアフェスティバル天草」

11月18日(土)・19日(日)の両日、天草市民センターをメイン会場に「火の国ボランティアフェスティバル天草」が開催され、ボランティアや福祉関係者など約1,300名が参加しました。

1日目は、記念講演「今こそ求められるボランティア活動を」と題して、スペシャルオリンピック日本・熊本理事長 潮谷 義子 氏が熊本地震を振り返りながら、被災者の方々への心のケアの必要性や、ボランティア活動を通して互いに支え合うことの大切さなどを話されました。

その後、「熊本地震ボランティア活動」、「民生委員活動」、「地域づくり活動」、「観光ボランティア活動」をテーマに4つの分科会が行われ、参加者が熱心に聴講する様子が伺えました。



【大会旗を次回開催地へ】

2日目は、特別講演「共に育つ」と題して、高野山真言宗別格本山 篠栗四国総本寺 南蔵院 第23世住職 林 覚乗 氏が、笑いあり涙ありの様々な実話を交えながら心豊かに生きることの大切さなどを話されました。

その後の引継式・閉会式では、次回開催地の上益城地域・熊本市に大会フラッグが引き継がれ、次回開催地を代表して、熊本市ボランティア連絡協議会の潮谷 愛一 会長が来年度大会に向けた意気込みを話されました。

エンディングアトラクションでは、熊本大学のアカペラグループによる美しいハーモニーが奏でられ、盛会のうちに幕を閉じました。

### 「成年後見制度利用促進基本計画」閣議決定を受けて～成年後見制度利用促進研修会～

11月10日(金)、KKRホテル熊本で「成年後見制度利用促進研修会」を開催し、市町村社協・社会福祉施設・精神科病院・行政機関等から計185名が参加しました。

はじめに、県認知症対策・地域ケア推進課参事 矢仁田 恵 氏から「熊本県における成年後見制度利用促進と認知症施策」について説明がありました。

次に、公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート熊本支部司法書士 井上 広子 氏から「成年後見制度の現状と課題」と題し、講演がありました。成年後見関係事件の概況(統計)から見る制度運用上の問題点や世界各国との比較、本年3月の「成年後見制度利用促進基本計画」閣議決定後の議論の動向等を話題に、参加者への問題提起を多く含む講演となりました。

続いて、玉東町社協事務局長 中嶋 範子 氏から「法人後見の取組み」について実践報告がありました。社協が法人後見に取り組む意義や実情、支援を行う上での関係機関との連携のあり方等、事例を基にした報告があり、社協だけでなく関係機関からの参加者にとっても、今後の権利擁護支援について共に考える研鑽の機会となりました。



【質疑応答の様子】

## 苦情を福祉サービスの質の向上に活かす ～福祉サービス苦情解決研修会を開催～



【シンポジウムの様子】

11月24日(金)、熊本市植木文化センターで「福祉サービス苦情解決研修会」を開催し、福祉事業所や市町村社協等で苦情解決に関わる職員、第三者委員など458名が参加しました。

講演では、西南学院大学教授 倉田 康路 氏から「苦情を福祉サービスの質の向上に活かすには」と題し、苦情の構造や苦情申立人の思い、その苦情の相手先となる事業者の共通性、そしてその苦情をサービスの質の向上に活かすための考え方について、多くの事例からわかりやすく解説がありました。

続いて、「福祉サービスにおける苦情解決の現状と課題」をテーマにシンポジウムが行われ、特別養護老人ホーム蕉夢苑施設

長 小篠 英明 氏、南関町社協地域福祉推進課長 真弓 裕一 氏、利用者・家族の代表として「認知症の人と家族の会熊本県支部」世話人 吉永 京子 氏から、それぞれの立場での事例を通して、苦情解決への取り組みについての発表がありました。

## 介護支援専門員実務研修受講試験結果 ～合格者465人～

去る10月8日(日)に実施した「平成29年度熊本県介護支援専門員実務研修受講試験」の合格者の発表を11月28日(火)に行いました。また、本会ホームページに正答番号、合格基準を併せて掲載しました。

本年度の結果は、申込者2,850人、受験者数2,559人、合格者数465人で、合格率は18.17%でした。

(参考:平成28年度11.35%、平成27年度13.95%、平成26年度17.90%)

本試験の合格者は、平成30年1月11日(木)から延べ15日間の日程で実施する「平成29年度熊本県介護支援専門員実務研修」の全日程を修了後、県に登録申請を行い、登録後に介護支援専門員として実働できることとなります。

## 福祉職への就労を促進する ～福祉の就職総合フェア2017を開催～

11月7日(火)、KKRホテル熊本で「福祉の就職総合フェア2017」を開催しました。本事業は、福祉関係業務への就職を希望する方々と福祉・保健・医療の関係事業所が一同に会し、求職者と求人事業所の面談の機会を提供して、求人の早期充足と求職者の就労促進を図ることを目的としたものです。また、福祉の仕事に関心がある方に、専門的な知識や資格取得の方法等についての情報を提供するとともに相談の場を設けました。



【就職面談会の様子】

当日は、学生22名を含む75名と39の事業所が参加しました。参加者は、就職に向けての相談や情報収集に意欲的で、多くの方が複数のブースを回っていました。今後、参加された方が一人でも多く就職できるよう、人材センターとして支援してまいります。

なお、今回のフェアに先立って「福祉・介護人材確保定着支援セミナー」を開催し、参加事業所には、新規採用者はもちろん、現在働いている職員の離職防止と定着支援のための取り組みについて受講していただきました。

また、参加者向けにも「就活応援セミナー」を開催しました。

## 適正な内部牽制体制の構築について考える ～市町村社協会計担当者等研修会～

11月17日(金)、県総合福祉センターで「市町村社協会計担当者等研修会」を開催し、市町村社協の会計担当者等32名が参加しました。

講義では、全国社会福祉事業団協議会 事務局次長 鈴木 俊昭 氏が、「社会福祉法人会計の概要と適正な会計実務について」と題して、会計実務のポイントや社会福祉法人制度改革、その他社会福祉関係制度の動向、指導監査ガイドライン等について説明されました。

グループワークでは、「適正な内部牽制体制の構築について」をテーマに、各社協における経理規程の整備状況や業務分担体制、小口現金の取扱い方法などについて、活発な情報交換が行われました。



【講師の鈴木俊昭氏】

# 各課トピックス

\* お問い合わせは、県社協各課まで

総務課	地域福祉課
TEL 096-324-5454 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5470 / FAX 096-355-5440
<p>◆第4回理事会、各種協議会会長会議、第2回評議員会、役員・評議員等研修会のご案内◆</p> <p>期 日 平成29年12月20日(水)</p> <p>第4回理事会 13:30~14:20</p> <p>各種協議会会長会議 14:30~15:20</p> <p>第2回評議員会 15:30~16:30</p> <p>役員・評議員等研修会 16:40~17:45</p> <p>会 場 KKRホテル熊本</p>	<p>◆市町村社協監事研修会開催のご案内◆</p> <p>期 日 平成30年1月31日(水) 13:30~16:30</p> <p>会 場 県総合福祉センター 研修ホール</p> <p>講 師 立石公認会計士事務所 立石 和裕 氏</p> <p>◆地域福祉推進フォーラム開催のご案内◆</p> <p>期 日 平成30年2月6日(火) 10:20~15:30</p> <p>会 場 ホテル熊本テルサ テルサホール</p> <p>講 師 大阪府立大学教授 小野 達也 氏</p> <p>※ 詳細は、地域福祉課までお問い合わせください。</p>
施設福祉課	民生課
TEL 096-324-5462 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5475 / FAX 096-355-5440
<p>◆ソウェルクラブ会員交流事業のご案内◆</p> <p>事 業 名 「糸島・岐志漁港の牡蠣小屋と浜地酒造試飲&amp;見学 日帰りの旅」</p> <p>期 日 平成30年1月21日(日)</p> <p>場 所 福岡市 糸島半島</p> <p>募集人数 40名</p> <p>参加費 1人2,000円(通常価格6,500円)</p> <p>申込期日 12月14日(木) 8:30~12月15日(金) 17:00</p> <p>* 詳細は、会員事業所に別途ご連絡します。</p>	<p>◆教育支援資金貸付のご案内◆</p> <p>平成30年度入学予定者の学費等、月々必要な費用を対象とする教育支援資金(教育支援費)の貸付については、次のとおり取り扱います。</p> <p>受 付 原則として入学(入校)の2か月前から</p> <p>要 件 本資金の申込みと併せて、日本学生支援機構(給付型・第一種)、県育英資金等の他の奨学金を申込みすること</p> <p>※ 入学金等を対象とする就学支度費は、随時受け付けます。受付期限は、平成30年3月15日(木)本会到着分までです。</p>
福祉人材・研修センター	地域福祉権利擁護センター
TEL 096-322-8077 / FAX 096-324-5464	TEL 096-324-5474 / FAX 096-324-5456
<p>◆平成29年度介護支援専門員実務研修について◆</p> <p>10月8日(日)に実施した「平成29年度熊本県介護支援専門員実務研修受講試験」の合格者を対象として、1月11日(木)から延べ15日間(87時間)の日程で標記研修を実施します。</p> <p>研修対象者には、本会から直接案内しています。</p> <p>また、実施要項および日程表の詳細については、当会ホームページへ掲載していますので、ご確認ください。</p> <p><a href="http://www.fukushi-kumamoto.or.jp">http://www.fukushi-kumamoto.or.jp</a></p>	<p>◆法人後見従事者・市民後見人養成研修会(専門編)開催のご案内◆</p> <p>期 日 平成30年1月16日(火)、19日(金)、25日(木)、2月7日(水)、8日(木) ※全5日間</p> <p>会 場 県総合福祉センター</p> <p>内 容 民法の基礎、関係制度・法律、成年後見制度の実務、任意後見制度等(計26.5時間)</p> <p>参加費 無料</p> <p>※ 成年後見制度に関する最近の動向として、円滑化法の実務や財産の引渡しについても取り上げる予定です。詳細については、後日開催案内を送付いたします。</p>
ボランティアセンター	ご 案 内
TEL 096-324-5436 / FAX 096-324-5427	
<p>◆福祉教育推進研究会議開催のご案内◆</p> <p>テーマ 社会的包摂に向けた福祉教育プログラムの展開について(仮題)</p> <p>日 時 平成30年1月12日(金)</p> <p>場 所 県総合福祉センター5階 研修ホール</p> <p>講 師 全社協 全国ボランティア・市民活動振興センター 部員 大場 尚子氏</p> <p>報告者 県内市町村社協ボランティア担当者</p> <p>参加費 2,000円</p>	<p>◆「社会福祉手帳2018年版」絶賛販売中◆</p> <p>価 格 1冊 600円</p> <p>送 料 4冊以下の注文の場合は380円 5冊以上注文の場合は無料</p> <p>掲載資料 社会福祉法等の法令、県関係機関、県内外の社協、県内の施設、団体等の名簿など</p> <p>※ 申込書は本会ホームページからダウンロードできます。ご注文はお早めにご確認ください。</p> <p>※ 詳細は、地域福祉課までお問い合わせください。</p>



【2018年版】